

平成 29 年 12 月 28 日

各 位

公益社団法人日本産科婦人科学会  
理事長 藤 井 知 行  
医療改革委員会  
委員長 海 野 信 也

## 平成 29 年度「拡大医療改革委員会」兼 「産婦人科医療改革公開フォーラム」 開催のお知らせ

謹啓、日本産科婦人科学会では「拡大医療改革委員会」兼「産婦人科医療改革公開フォーラム」を以下の要領で開催することを企画いたしました。

先生方におかれましては、ご多用の折とは存じますが、地域医療の危機的状況に鑑み、このような会を開催することの重要性はきわめて高いと思われまます。なにとぞご高配のほどお願い申し上げます。

謹白

### 記 「拡大医療改革委員会」

日時：平成 30（2018）年 1 月 21 日（日曜）13 時から 16 時 30 分（予定）

場所：フクラシア東京ステーション 会議室 H

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-1 朝日生命大手町ビル 5F,6F

TEL 050-5265-4811（予約センター）

[https://www.fukuracia.jp/tokyo/guide/type\\_h.html](https://www.fukuracia.jp/tokyo/guide/type_h.html)

テーマ：「産婦人科医の働き方改革と地域分娩環境の確保」

- **開催の目的**：国全体としての「働き方改革」への取組が進む中で、「医師の働き方」のあり方が問われています。過酷な勤務条件下で診療に従事している地域の産婦人科医にとって、この問題は産婦人科医にとっては以前からの中心的な課題であり、日本産科婦人科学会でも 2005 年度より産婦人科医療提供体制検討委員会、医療改革委員会等において継続的に検討し、産婦人科医療改革グランドデザイン 2010・2015 および地域基幹分娩取扱病院重点化プロジェクトとして組織的な取組を続けてきています。勤務条件の改善は、産婦人科医療提供の持続可能性を確保するための絶対的必要条件ですが、それを実現するためには、これまでの働き方、医療提供のあり方の抜本的な変革が必要となります。今回の拡大医療改革委員会は、この問題について、国としての取組状況について情報を共有するとともに、今後の取組の方向性についての議論を深化させることを目的といたします。

● 検討事項：

- 「医師の働き方改革の検討状況」
- 他の領域における「働き方改革」
- 産婦人科医の勤務条件の改善
- 勤務条件の改善と医療提供の両立を図る方策

● 現時点での議事次第案は以下の通りです。

➤ 司会者：

- ◇ 鈴木 真 亀田総合病院総合周産期母子医療センター
- ◇ 松本 陽子 東京大学医学部女性外科

➤ 挨拶：13:00

- ◇ 藤井知行 公益社団法人日本産科婦人科学会理事長（出席予定）
- ◇ 厚生労働省子ども家庭局母子保健課 課長（依頼予定）
- ◇ 厚生労働省医政局地域医療計画課救急周産期医療等対策室 室長（内諾済み）

➤ 第1部：13:10-14:30：基調報告

- ◇ 中井章人「周産期医療の現状と「働き方改革」～施設情報調査2017より～（仮題）」
- ◇ 海野信也「産婦人科医が働き方改革を実現するための必要条件（仮題）」
- ◇ 石川雅俊「周産期医療圏の設定に関するシミュレーション（仮題）」
- ◇ 堀岡 伸彦：厚生労働省医政局医事課・医師養成等企画調整室室長「国の『働き方改革』への取組について（仮題）」（内諾済み）
- ◇ 質疑応答

➤ 第2部：講演：14:30-16:00

- ◇ 川人 博 先生：弁護士・「過労死 110 番」・過労死弁護士全国連絡会議幹事長・自殺は長時間労働で精神疾患を発症したのが原因として労災認定された産婦人科専攻医の遺族側代理人
  - 演題名「産婦人科医の過労死防止を」
- ◇ 相澤 孝夫 先生：相澤病院理事長・日本病院会会長
  - 演題名「相澤病院における医師の働き方改革」
- ◇ 野崎 治子 先生：株式会社堀場製作所理事・管理本部 CSR 担当、HORIBA COLLEGE 学長
  - 演題名「Do you have "JOY and FUN" in your own work？」

➤ 第3部：総合討論：16:00-16:30

- 本拡大委員会では、以下のような方にご出席をお願い致したいと考えております。
  - 医療改革委員会委員
  - 厚生労働省雇用均等・児童家庭局担当者、厚生労働省医政局救急・周産期医療等対策室担当者（参加依頼予定）
  - 都道府県の産科婦人科学会、日本産婦人科医会都道府県支部の産婦人科医療提供体制検討担当者
  - 医局長等の各大学産婦人科教室の人事担当者
  - この問題に関心のある会員
  - 都道府県の医療提供体制整備・医師確保対策担当者
  - 報道関係者を含む一般の方の傍聴・参加を歓迎する。厚労省記者クラブに通知する。
  - ・ 本拡大医療改革委員会は、一般会員に開放した形式で行います。
  - ・ 報道関係者を含む一般の方の傍聴・参加を歓迎します。

- 本拡大委員会の記録は、動画形式で医療改革委員会が運営するホームページ「周産期医療の広場」<http://shusanki.org/event.html>に掲載する予定です。

\*当日ご出席をご希望の方は、平成30年1月12日（金）までに、下記までご連絡をお願いいたします。

公益社団法人日本産科婦人科学会 事務局宛

E-mail : [nissanfu@jsog.or.jp](mailto:nissanfu@jsog.or.jp)

FAX : 03-5524-6911

以上

平成 年 月 日  
[回答期限：平成 30 年 1 月 12 日（金）]

日本産科婦人科学会事務局 医療改革委員会 宛  
FAX 03-5524-6911

平成 30 年 1 月 21 日（日）に開催される「拡大医療改革委員会」に出席を希望いたします。

出席者氏名： \_\_\_\_\_

出席者所属： \_\_\_\_\_

連絡先：〒 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

(住所、e-mail address、FAX 番号、電話番号等)

誤送信にご注意下さい